

題材名	年 組 番	9問
(中学校) 安全な住まい方について考えよう	氏名	

- ◆ 日常生活の中で、住まいのつくりや住まい方が原因で、事故がおこったり、けがをしたり、危険と感じたりしたことはなかったでしょうか。書き出してみましょう。

〈例〉・トイレの入口につまずき、壁で頭を打った。

- ◇ 安全で安心な住まいについて、() にあてはまる語句を入れましょう。
- 住まいの中で起こる事故を(家庭内) 事故といいます。事故の原因はさまざまですが、住まい方の(工夫) で防止できることもあります。
- 事故防止として、まず、住まいの中の整理・(整頓) をすることが大切です。床に不用意に置いたものなどは、つまずきや(転倒) の原因になります。
- 段差をなくしたり、階段や廊下などに適切な手すりをつけたりすることで、安心して移動することができます。このような住まいの(バリアフリー) は、幼児や(高齢者) だけでなく、わたしたちの日常生活の(安全) にもつながります。

- ◆ 上記のまとめを参考に住まいの様子を観察し、問題点や工夫点を整理してみましょう。

場 所	問 題 点	工 夫 点
(例) 階 段	段差が急なので、転びそうになることが多い。	転倒しないように、滑り止めがついている。
①		
②		
③		

- ※ 問題点を解決するために、現在どのような工夫をしているか、また、今後どのような工夫ができそうかなどについて家族で話し合ってみましょう。